

20世紀の映像百科事典をひらく 映像のフィールドワーク展 vol.2

ひもをうむ、あむくむ、むすぶ



2023
7 / 25
TUE
↓
10 / 22
SUN

9時 ↓ 21時
休日のみ
※祝日は除く

生活工房ギャラリー
(三軒茶屋駅直結キャロットタワー3階)

広報用画像 | チラシ
グラフィックデザイン
吉田勝信 (吉勝制作所)

主催→公益財団法人セタが中文化財団 生活工房
企画制作→EC生活工房プロジェクト (下中道雄、中嶋きさら、(プロボ)中野明)、丹羽静子
協力→公益財団法人子午文化財団、美術百博、東京M、東京M、東京M
後援→世田谷区、世田谷区教育委員会

生活工房

《入場無料》

本展に関するお問い合わせ：生活工房 石山 (広報)、天野

154-0004 東京都世田谷区太子堂 4-1-1 キャロットタワー

電話 / 03-5432-1543 FAX / 03-5432-1559 Email / info@setagaya-ldc.net

▪ 展示概要

一みる、やってみる、問いつづける わたしの今ここから

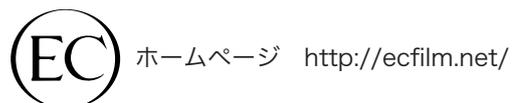
1952年、第2次世界大戦の敗戦後間もないドイツの国立科学映画研究所で、ある壮大なプロジェクトが始まりました。その名は「エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ」（以下、ECフィルム）。世界中の知の記録を集積することを目指した、“映像による百科事典”です。以降40年近くの歳月をかけ、あまたの研究者やカメラマンが世界各地に派遣され、その地に生きる人々の暮らしや儀礼、動植物の生命活動をフィルムに収めました。映像の総数は、実に3,000タイトル以上にも及びます。2019年春、生活工房で開催した「映像のフィールドワーク展」の第二弾である本展は、ECフィルムの中から、^う績む ^あ編む ^く組む ^{むす}結ぶ ^よ撚る ^な絢う ^お織る、という「ひもづくり」にまつわる映像約50作品（会期中入替あり）を展示上映し、身近にある植物や獣毛を素材に、衣服から住居まであらゆるものを生み出してきた人間のものづくりの原点を辿る展覧会です。

ECフィルムには、遠い昔の遠い国の人が紡いだ、美しい手仕事の時間が記録されています。本展では、そのタイムカプセルを21世紀に開き、映像を「みて」草や古布など生活の中から素材を採集して「やってみる」、そして自分の「手から考える」ことを実践するワークショップも行います。映像をフィールドワークすることの愉しさと「みる、やってみる」のアイデアを散りばめた展覧会へ、ぜひご来場ください。

▪ エンサイクロペディア・シネマトグラフィカとは？

「エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ」=ECフィルムは、世界中の人の暮らし、生き物の生態を記録して映像の百科事典を作るという壮大なプロジェクトです。

1952年、第2次世界大戦の敗戦後間もないドイツ・国立科学映画研究所ではじまりました。以来たくさんの研究者やカメラマンが世界各地に赴き、3,000タイトルを超える貴重な映像アーカイブを制作しました。人びとの暮らしの習慣や衣食住、もの作り、音楽、儀礼などを記録した民族学映像、様々な生き物の行動や生態を観察した生物学映像、機械工学や技術史などを取り扱った技術科学映像の3つの主軸で構成されています。研究、教育を目的に制作されたこれらのECフィルムは各国機関に渡り、日本では1970年より下中記念財団が管理・運用を行なっています。



▪ EC活用プロジェクトとは？

16mmフィルムで記録、保管されていたために、長い間上映が行われていなかったECフィルム。これを再び開いてみたい！と、有志によるプロジェクトがスタートしたのが2012年。映像のデジタル化やウェブサイトの検索リストの作成、貸し出しを行うだけでなく、アーカイブ映像の新たな活用方法を模索。タイムカプセルを開け、一緒に旅をするように映像を見るスタイルを「映像のフィールドワーク」と名付け、実験的な展示や上映会、ワークショップを続ける。「観る、やってみる、問い続ける」ことで、映像の現代的な価値を探究中。

メンバーは下中菜穂（造形作家、伝統切り紙研究 旧暦カフェ主宰）、中植きさら（ポレポレ東中野）、丹羽朋子（文化人類学）。



冊子「こなねる たべる」

EC活用プロジェクトが生活工房などで実施してきた展示や上映会、ワークショップの内容をまとめた冊子詳しくは http://ecfilm.net/news/ec_book01

・みどころ・内容

① 人類の叡智がつまった映像を 約 50 作品展示上映

数多くの研究者・カメラマンが世界各地に赴き 40 年近くを費やして撮影した EC フィルム。そこには今現在は失われてしまった暮らしの技法や儀礼なども記録されています。電気に頼らず、自らの手で衣食住の全てを生み出していた人類の貴重な姿を観ることができます。



広報用画像 2

『ココヤシ繊維の紐づくり』エリス諸島 ニュータオ島
／ポリネシア人／1960年／10分30秒／E0411

② 「わたしの今ここから」考える。

映像と、会場いっぱいの素材のインスタレーション

展示会場には、都内の河原から採集したススキやチガヤなどの植物、食べたトウモロコシの外皮とそれからつくったひも、着古したジーパンを裂いて生まれたひも玉などの多種多様な素材がいっぱい！

それらは、映像の中の暮らしと「わたしの今ここ」をつなぐものであり、その存在は私たちの五感を刺激します。都市生活の中でも素材を身近なところで「採集」するアイデア、そこからひもを生み出すことのおもしろさを提案します。



広報用画像 3

トウモロコシの外皮からつくったひも 写真：下中菜穂

③ 「みる、やってみる」を実践する ワークショップを開催

会期中、EC フィルムの映像を観て、自らやってみるワークショップを多数開催します。

ひも・草舟・かご・敷物づくりなど、一本のひもを生み出すところからはじめて手仕事の時間を楽しみます。子どもから大人までご参加いただけます。



参考画像

自分の手でひもを生み出そう 写真：下中菜穂

④ 全長 6 メートルの葦舟がやってくる

私たちの祖先は身近にある草を束ねて海を渡るための舟をも生み出してきました。

EC フィルムの映像『アシ舟“カバリト”づくり』（北ペルー西海岸／1962年）他の映像と共に、探検家・医師の関野吉晴氏が制作した全長 6 メートルの葦舟を展示し、その見事な造作を体感いただけます。



参考画像

全長約 6 メートルの葦舟（所蔵：墨田区）

▪ 展覧会情報

展覧会タイトル：20 世紀の映像百科事典をひらく 映像のフィールドワーク展 vol.2

ひもをうむ、あむ、くむ、むすぶ

会期：2023 年 7 月 25 日（火）～10 月 22 日（日） 9:00 ～ 21:00

休み：月曜休み（祝日を除く）

料金：入場無料

会場：生活工房ギャラリー

東京都世田谷区太子堂 4-1-1 キャロットタワー 3 階

（東急田園都市線・世田谷線「三軒茶屋」駅直結）

WEB ページ：<https://www.setagaya-ldc.net/program/563/>



主催：公益財団法人せたがや文化財団 生活工房

企画制作：EC 活用プロジェクト〈下中菜穂、中植きさら（ポレポレ東中野）、丹羽朋子〉

協力：公益財団法人下中記念財団、関野吉晴、墨田区

後援：世田谷区、世田谷区教育委員会

ワークショップ協力：株式会社紫水園、JA 東京中央 砧地区青壮年部、景丘の家、くさっぱら公園、上東を愛する会（高知県の町・吾北）、一般財団法人進化生物学研究所、おしゃれ工房 三軒茶屋とうきゅう店、世田谷区立次大夫堀公園民家園・岡本公園民家園、絹遊塾 工房 風花、佐藤小菜、松田牧恵、松田洋一、小松義夫、小松衛子

一部、JSPS 科研費 23H03899 C03、20H01403 助成

▪ 展覧会紹介ショートバージョン（約 150 字）

「エンサイクロペディア・シネマトグラフィカ（EC フィルム）」は戦後ドイツで生まれた“映像による百科事典”です。その貴重な映像の中から「ひもづくり」にまつわる映像を展示上映し、会期中には映像を観ながら縄・草舟・かご・敷物などを自分の手で作ってみるワークショップや、トークイベントも開催します。

▪ 関連イベント

ワークショップは全て

会場：ワークショップルーム AB

（キャロットタワー 4 階）

定員：20 名（抽選）

申込方法：各回の締め切り日までに、

生活工房 WEB サイトのフォームにて



広報用画像 4

さまざまな草からつくったひも 写真：下中菜穂

関連イベント | ワークショップ①～⑥

「映像をみる、やってみる」① ばける

植物やひもを材料に仮面をつくって、みんなで三茶のまちにくりだします。

日時：2023年8月4日(金)13:00～16:00

講師：EC活用プロジェクト

対象：幼児～大人(小3以下は保護者同伴)

参加費：500円(保護者無料)

申込締切：7月20日(木)



参考画像

ばけるワークショップ 写真：景丘の家

「映像をみる、やってみる」② なう よる

手で、道具で、ひもづくりの原点と進化をたどりながら制作します。

日時：2023年8月5日(土)10:30～16:30

講師：EC活用プロジェクト

対象：小学3年生以上(小3は保護者同伴)

参加費：1,000円(保護者無料)

申込締切：7月20日(木)



広報用画像 5

『竜舌蘭繊維の糸づくりと紐づくり』コロンビア

シェラ・ネヴァダ・デ・サンタ・マルタ / アルファコ族 / 1969年 / 8分30秒 / E1885

「映像をみる、やってみる」③ たばねる

藁や草、枝を材料に、夏の伝統行事にちなんだ盆舟をつくります。

日時：2023年8月26日(土)10:30～16:30

ゲスト：ながはたじゅんぺい(民俗写真家)

対象：小学3年生以上(小3は保護者同伴)

参加費：1,000円(保護者無料)

申込締切：8月10日(木)

ながはたじゅんぺい

関西地方を中心に日本各地の小さな村祭りや民俗行事を訪ね撮影している。

とりわけ関心があるのは「特殊神饌」、藁仕事などの「つくりもの」。兵庫県在住。

「映像をみる、やってみる」④ あむ

草や人の背丈ほどあるヤシの葉などを材料に、かごを編み出します。

日時：2023年9月16日(土)10:30～16:30

ゲスト：本間一恵（かご編み作家）

対象：小学3年生以上（小3は保護者同伴）

参加費：1,000円（保護者無料）

申込締切：8月31日(木)



広報用画像 6

『グリュックスタットの端綱づくり』中央ヨーロッパ
ホルシュタイン／1969年／8分30秒／E2007

本間一恵（ほんま・かずえ）

1980年代はじめ、関島寿子の指導のもとに、新しい造形方法としてのかご（バスケットリー）に出会う。以後、伝統的なかごの作り方を学びつつ、現代バスケットリーの作品を制作し、個展、グループ展で発表。1989～バスケットリーニュース編集人。京都芸術大学藝術学舎でバスケットリーを講習。2005 青谷上寺地遺跡、2011 東名遺跡、2012 三内丸山遺跡出土のかごを復元制作。著書『クラフトテープで作る』（日本ヴォーグ社）。

「映像をみる、やってみる」⑤ くむ むすぶ

和紙の材料となる楮こうぞの芯「かじがら」をつかって、小屋を組み建てます。

日時：2023年9月18日(月祝)10:30～16:30

ゲスト：西村優子（紙の造形作家）

対象：小学3年生以上（小3は保護者同伴）

参加費：1,000円（保護者無料）

申込締切：8月31日(木)

西村優子（にしむら・ゆうこ）

紙の造形を制作しながら、紙のコトが気になってます。高知県の町（いのちょう）・吾北（ごほく）地区で土佐和紙文化や楮栽培、山間部のくらしをまもるために、地元の人や紙漉き職人さんと活動しています。高知から遠く離れた東京でも動き出した「かじがらプロジェクト」の仲間と一緒にゆるゆると考え続けていこうとしています。http://yukonishimura.com/

「映像をみる、やってみる」⑥ あむ から おる へ

こも編機をつかって、植物や古布などを編み込んだ大きな敷物をつくります。

日時：2023年10月1日(日)10:30～16:30

講師：EC活用プロジェクト

対象：小学3年生以上（小3は保護者同伴）

参加費：1,000円（保護者無料）

申込締切：9月18日(月祝)

関連イベントⅡ トークイベント

「みる、やってみる、問い続ける—日本の今この場所から」

自ら採集した素材で印刷用インクを創り出す吉田勝信さんと、津波被災した宮城県南三陸町で慰霊や災害を生き抜く知恵の伝承の場として、自らの手で森を創生するプロジェクトを始めた後藤一磨さん。EC フィルムに写されたものづくりにも似たお二人の活動から、現代に生きる私たちが企業や行政に任せきりにしているモノや場づくりを、自らの手でやってみることの面白さや可能性を考えます。

日時：2023年10月7日(土)14:00~16:00

会場：セミナールーム AB (キャロットタワー 5階)

ゲスト：吉田勝信 (吉勝制作所)、後藤一磨 (「海に見える命の森」プロジェクト)

定員：50名 (先着)

参加費：500円

申込方法：7月25日(火)10:00より生活工房 WEB サイトのフォームにて

▪ 広報用画像の貸し出しについて

展覧会広報用の画像をご用意しています。ご希望の際は下記の貸出条件をご確認いただき、①~⑨の必要事項を明記のうえ、Eメールにてお申し込みください。

なお、本展紹介記事をご掲載いただく際は、恐れ入りますが情報確認のため、掲載前に校正原稿をお送りください。また、掲載後、掲載誌、URL等を広報担当宛てにお送りいただきますようお願い申し上げます。

【貸出条件】

- ・画像は展覧会紹介の目的のみにご使用ください。
- ・画像データは、ご使用后必ず消去してください。
- ・画像データを第三者に渡すことを禁じます。

【必要事項】

- ①媒体名 (雑誌名、番組名、WEBサイト名など)
- ②媒体種別 (新聞、雑誌、フリーペーパー、テレビ、ラジオ、WEBサイトなど)
- ③発売、放送、更新等予定日
- ④貴社名
- ⑤ご担当者名
- ⑥ご住所
- ⑦Eメールアドレス
- ⑧電話番号
- ⑨ご希望の画像番号

画像1 (P1 掲載) 展覧会ポスター

画像2 (P3 掲載) 『ココヤシ繊維の紐づくり』 / 1960年 / 10分30秒

画像3 (P3 掲載) トウモロコシの外皮からつくったひも 写真: 下中菜穂

画像4 (P4 掲載) さまざまな草からつくったひも 写真: 下中菜穂

画像5 (P5 掲載) 『竜舌蘭繊維の糸づくりと紐づくり』 / 1969年 / 8分30秒

画像6 (P6 掲載) 『グリュックスタットの端綱づくり』 / 1969年 / 8分30秒

生活工房 広報担当 石山 行き

Email info@setagaya-ldc.net